

**課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）  
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要**

**課題**

人口減少社会における多様な文化の共生をめざすコミュニティの再構築

**研究テーマ名**

実践と政策のダイナミクスによる多文化共生：大阪型在日外国人参加モデルと政策提言

**責任機関**

大阪大学

**研究実施期間**

平成30年10月～2021年9月

**研究プロジェクトチームの体制**

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者兼政策調査 グループリーダー	高谷幸	大阪大学・人間科学研究科・准教授
コミュニティ調査グ ループリーダー	榎井縁	大阪大学・大学院人間科学研究科・招へい研究員
分担者	安岡健一	大阪大学・大学院文学研究科・准教授
分担者	高田一宏	大阪大学・大学院人間科学研究科・教授
分担者	原めぐみ	和歌山工業高等専門学校・総合教育科・助教
分担者	樋口直人	徳島大学・大学院総合理工学部・准教授
分担者	稲葉奈々子	上智大学・総合グローバル学部・教授
分担者	河村倫哉	大阪大学・大学院国際公共政策研究科・准教授
分担者	遠藤知子	大阪大学・大学院人間科学研究科・講師
分担者	志水宏吉	大阪大学・大学院人間科学研究科・教授
分担者（実務者）	金光敏	（特活）コリアNGOセンター・理事兼事務局 長およびMinami子ども教室・実行委員長
分担者（実務者）	高階章一	大阪府教育庁・高等学校課・生徒指導グ ループ・主任指導主事
分担者（実務者）	丹羽雅雄	弁護士
分担者（実務者）	ラボルテ雅樹	（特活）移住者と連帯する全国ネットワ ーク運営委員および（公財）とよなか国際交 流協会若者支援事業コーディネーター

**配分（予定）額**

（単位：円）

平成30年度	平成31年度 （2019年度）	2020年度	2021年度
2,932,800円	3,920,800円	3,883,100円	1,907,100円

※平成31年度（2019年度）・2020年度・2021年度については予定額

**研究目的の概要**

ニューカマー外国人の来日より30年が経過したが、子ども世代は親より学歴が低下し、周縁への固定化が懸念される。だが大阪では、貧困や差別を当事者運動によって克服したマイノリティ運動の歴史上に、ニューカマーの実践があり、政策的対応もなされてきた。これらマイノリティ間の有機的連携とそれを支える政策が大阪の特徴であり、他地域では孤立しがちなニューカマーの若者の社会活動への参加が際立つ。大阪においてニューカマーの参加を促すコミュニティ実践とその基盤である政策および実践と政策のダイナミクス（相互影響）を明らかにし、それを大阪型参加モデルとして示すとともに、政策提言を行うことが本研究の目的である。申請者は、全国約100の在日外国人支援団体をネットワーク化するNPOで元専従・理事を務め、大阪モデルを全国レベルでの実践につなげられる。

**研究計画の概要**

本研究は、大阪をフィールドに(1)在日外国人の貧困・差別に取り組むマイノリティコミュニティの実践考察、(2)大阪の多文化共生政策の特徴を明らかにする。また(3)実践と政策のダイナミクスの検討を通して、大阪型在日外国人の参加モデルの提案および政策提言を行い、全国展開を図る。研究は、(1)コミュニティ調査グループ(2)政策調査グループ、(3)合同研究会の体制で遂行する。